

研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム

産学共同(育成型) 事後評価結果

体系的課題番号	: JPMJTR20U4
採 択 年 度	: 2020 年度
分 野	: アグリ・バイオ
研究開発課題名	: 牛ルーメン液を用いたリグノセルロース分解促進材の開発とメタン発酵 高効率化
プロジェクトリーダー 研究責任者	: 多田 千佳(東北大学)

評価結果の総合所見

本課題は、リグノセルロース系廃棄物バイオマスを対象にして牛ルーメン液を分解促進剤として使用するメタン発酵処理技術の開発を目指すものである。

目標の一部が達成できなかったものの、具体的な企業との連携を進めており、今後の取り組み次第では次の研究開発フェーズに進める可能性がある。

ルーメン液を連続的に培養することでメタン発酵のメタン生成量などの倍増などの結果を得ており期待が持てる。一方、ルーメン液の供給法や減容化、具体的な製品・サービス像など実用化に向けては課題が残る結果となった。

以上